

PROFILE : 池田 千鶴子 (CHIZUKO IKEDA)
ハープ奏者・ミュージックセラピスト

東邦音楽大学ピアノ科卒・武蔵野音楽大学ハープ科卒。ハープを日本ハープ界の第一人者である井上久美子氏(世界ハープ会議副会長)に師事。世界でもごく限られたインプロヴィゼーションを取り入れたハープ奏者として知られる。



■1986年、世界アルピニスト大会記念イベント

北アルプス常念岳(標高2,857m)にてハープ演奏。

その模様はNHK World Radio Japan(NHKの行うラジオ国際放送)を通じて全世界に放送された。

■「ハープの音色を通じた心の交流」

以後、多数の出演依頼を受ける傍ら養護学校や老人ホーム、精神病院、少年鑑別所等、当時は音楽に触れる

機会の乏しい場所を訪ね、「ハープの音色を通じた心の交流」を前面に演奏活動を行い始める。

1987年、イギリス、アイルランドに招待演奏として招かれ、コンサートに出演する。

■1989年、アメリカにてヒーリングミュージックを学ぶ

更なる音楽の可能性を追求すべくアメリカ・ミネソタアウグスブルクカレッジ、アリゾナ大学にて、ヒーリングミュージック(その場の状況や環境に応じたフィーリング:feelingによる即興演奏)を学ぶ。

同年、自然写真家である小口和利氏と「ハープと映像」のジョイントコンサートを企画、好評を博す。

■1995年、阪神・淡路大震災直後の被災地へ演奏依頼・関西に拠点を移す

阪神・淡路大震災直後の被災地へ演奏依頼を受け、まだ瓦礫の残る地で、被災された方々のために演奏活動を行う(自衛隊が現地まで先導した)。これを機に拠点を関西に移し、日本全国のみならず海外での演奏活動を積極的に開始する。

■1997年、JICA(独立行政法人国際協力機構)25周年記念プログラム演奏

JICA(独立行政法人国際協力機構)25周年記念プログラムでは、スリランカ国内では初となるハープリサイタルを行い、各国大使らの絶賛を浴びるなど大きな反響を得る。

■2000年、NY・カーネギーホール ソロ演奏

カーネギーホール(ニューヨーク市)でのソロ演奏を行う。ハープ奏者としての注目を世界中から集めることとなった。

同年開催されたヒーリングサウンドコンクール(アメリカ)では日本人最高の2位入賞。この時、障害児教育と日米教育交流で著名なカニングハム久子氏と出会い、交流を深める。



<カーネギーホール演奏時のステージビル>

■2001年、NYテロ1年レクイエム(鎮魂)コンサートに米国より招聘

ニューヨークテロ1年レクイエムコンサートでは、ニューヨーク市ブロンクス地区に招かれ、レクイエム演奏を行う。

■2003年、国連NGO世界会議にてリサイタル

国連NGO:ISS(国際社会事業団:本部ジュネーブ)より招聘され、ISS世界会議(ギリシャ)にてリサイタルを開催。

2004年、国連NGO:ISS世界会議80周年(ジュネーブILO本部)招待演奏。

■2004年、「佐世保・小6児童殺傷事件」—音楽による心的ケアに携わる

「佐世保・小6児童殺傷事件」における音楽による心的ケアを文部科学省より依頼を受け、事件のあった大久保小学校の在校生に対し、行う。



<西日本新聞記事—2004年7月13日掲載>

同年、以前より構想のあった「Chizuko.Memorial.hall」(助成：日本財団)が、北海道 当麻町かたるべの森に建ち、記念式典が行われる。以来毎年6月中旬ごろ定期的にコンサートを行う。

■2006年、国内の経済界からの依頼

国内経済界からの要請を受け、ソニーやIBM、マツダ等の研修会、新人研修などで講演依頼を受ける。また稲盛和夫氏(京セラ名誉会長)の推薦を受け鹿児島大学・稲盛アカデミーでの講演・演奏を行う。

(テーマ：「あなたのこころ色はいのち色してますか」 他)

2008年、ラオスにてAAR(難民を助ける会)30周年記念ハープコンサートを開催。

2009年、「世界ホスピスデー」(日本)にてメインコンサート。

2010年、障害者芸術の最高峰「アロイズ・コルバス展」にて、ミュージアムコンサート。

同年、大阪医科大学看護学部 非常勤講師に任命される。

■2011年、日本航空の協力を受け、東日本大震災 被災地演奏

東日本大震災の被災地にて演奏を行い、亡くなられた方々への鎮魂、復興のために尽力した方々のため、山形・仙台にて演奏を行う。(協力：日本航空)。

2012年、東京スカイツリー※の被災地支援事業「夏休みに被災地の小中学生を東京スカイツリーへご招待」

にて、日本航空との協力の下、羽田空港格納庫での特別コンサートを開く。※ 東武タワースカイツリー株式会社

同年、函館おしまコロニーにて音楽指導を始めてから20年目を迎え、函館ウイニングホテルにて20周年記念コンサートを行う。

2013年、日本財団ホスピスナース研修会にて、全国から集まった約200名の看護師に講演及び演奏を行う。

2016年、「2014年度に発売した最新アルバム「Be Peaceful」が、シカゴ・ロヨラ大学の医師に感銘を与え、同医師からの共同研究のオファーを受け全米最大規模のミュージックセラピーのNPO MHTP (Music for Healing and Transition Program) に携わり、新たな形の「音楽と医療の関係」を発展させている。」

同年、国内最大規模の学会である第40回日本死の臨床研究会年次大会・特別企画～音楽の力において、講演・演奏を行う。

■2017年、アメリカ・ロチェスター Mayo Clinic において共同研究・臨床及びコンサートが決定!

同施設内 Cancer Education Center において、患者や家族、支援者に提供されるCDに、「池田千鶴子4thアルバム」が採用される。

【 Mayo Clinic 】: 最先端医療を提供し、米国大統領をはじめ政府高官、各国の要人を受け入れている。医療分野の研究・医療体制の質は、全米一であり世界一ともいわれる医療機関。



世界でも、特にクラシック界ではごく限られた演奏家にしか出来ない「インプロヴィゼーション(即興演奏)」を取り入れたハープ奏者として、世界中で演奏活動を行っている。

主な分野は、国際支援・障害者福祉・看護および医療的ケア・認知症介護予防・ミュージックセラピーから人権まで多岐にわたる。